

# 試験に臨む心得 (2010.10.24 試験)

試験当日は、心にも時間にも余裕を持って臨むよう心がけましょう。

## ■試験に臨む心得として

- ①会場を下見する：試験当日は、日曜日なので、各交通機関は休日ダイヤの運行のため、余裕があれば会場を下見し、所要時間、ダイヤなどの確認をしておく。
- ②体調に気を付ける：前夜の睡眠は十分にとり、当日は体温調節可能な服装にする。
- ③忘れ物をしない：受験票・眼鏡・鉛筆（HB鉛筆）・消しゴム・時計（携帯電話の代用はNG）。

## ■試験に際して注意すること

### ①マークシートに鉛筆で黒くしっかりマークする

マークした際の訂正は消しゴムできれいに消すこと。採点は機械が読み取るので判別不能にならぬよう消し屑を残さない。答案用紙は都道府県ごとに異なる場合がありますので予め注意すること。

### ②時間配分に気を付ける

解答免除問題は解答する問題と分けて×など記しておき、どの分野から先に解き始めるかあらかじめ決めておく。いくら考えても答えが出てこないときは、時間不足になる恐れがあります。その際は、他の問題をすべて終えてから見直すと意外とあっさり解けたりするものです。

### ③どうしてもわからないとき

どうしてもわからない場合は、制度の原理・原則、他の選択肢との比較や、文章の言い回しから合理的に考えて正解の可能性の高いものにマークする。（消去法）

### ④見慣れない文言が出題されたらよく読む

「見慣れない文言や選択肢が出てわからない？」という場合は、パニックにならないで他の選択肢を良く読みしっかり解答を探してみる。

### ⑤わからない問題の解答飛ばしに注意

選択に迷うものは後で解答し、その際、飛ばした解答マークの空欄を次の問題にマークしないこと。

### ⑥前の問題を引きずらない

毎年、アンケートで多いのが「難問の後に数問間違える」ということです。前の問題を引きずったまま次の問題に引きずらないよう、一端深呼吸などして断ち切ることです。

### ⑦マーク数の過不足は、厳禁！

解答個数の間違いは今までの苦労が水の泡です。問題の解答個数に○印を付け、最後にもう一度確認しましょう。

### ⑧解答時間が足りなくなったら

必ず全問マークシートに解答してから提出すること。運がよければ正解も期待できます。

### ⑨解答用紙マークの最終チェックを忘れない

試験終了時間の5～10分前には、記入ミスがないか、受験番号をマークしたかを最終確認する。